

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170500769		
法人名	社会福祉法人 フェニックス		
事業所名	グループホーム サニーテラス 1階		
所在地	岐阜県各務原市鵜沼各務原町9-204-3		
自己評価作成日	令和 1年12月28日	評価結果市町村受理日	令和 2年 4月 3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detai_2014_022_kan=true&ji_gyosyoCd=2170500769-00&PrEfCd=21&Ver:snCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 岐阜後見センター
所在地	岐阜県岐阜市平和通2丁目8番地7
訪問調査日	令和2年1月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

行事を行うことで季節を感じて頂ける様、桜・バラ・紫陽花・紅葉ドライブに出掛けたり朴葉寿司や梅ジュース・干し柿と一緒に作って食べたり、喜んで頂けるよう立案している。天気の良い日はテラスでお茶や散歩をしたり、1階にある交流広場で開催される地域の方主催のグリーンベンチにも参加させて頂き社会交流の場となっている。又隣接する託児所の子供達や学童の遊び場でもあり元気な声や活動を見て楽しんでいる。法人として口腔ケアに力を入れており、新規入居者は必ず歯科医師の往診により適切な指示を受けている。また定期的な歯科衛生士の訪問があり口腔ケア指導により嚥下機能の維持、誤嚥性肺炎予防に努めている。ご家族にも安心して頂けるよう、面会時には近況報告を、遠方のご家族には電話にて状態報告をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

訪問時、利用者の方々が明るくいきいきとした表情で迎えて下さり、優しい言葉とともに握手で歓迎していただいた。また、利用者がそれぞれにできることを自ら率先して行ったり、歌を歌う時には利用者の誰かが進行をリードしたり、利用者同士で助言を言い合うような良い関係性が見て取れた。ホームがある敷地内には、喫茶、食堂、地域交流広場等の法人施設が併設しており、生活の潤いや楽しみを得ることができる。1階にある地域交流広場では、託児所の子どもたちとの交流や地域のサロンやカフェも開催される等、地域の人々との交流の機会の場となっている。支援については利用者本位の視点に立ち、利用者一人ひとりの思いやケア内容を職員全員がカンファレンス等で共有し、支援方法について検討している。利用者には「安心して、楽しく、穏やかな生活をしていただきたい。」という思いを全職員が持っており、それが伝わってくるホームでもある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「Yes,we can! なんでも言ってください。私たちも一緒に頑張ります」がフェニックスグループの理念である。スタッフは名札に入れて共有し常にその思いを持ち入居者様のケアにあたっている	カードになっている理念・基本方針を常に持ち歩き、朝礼や毎月のカンファレンス開始時に読み上げて、再確認している。基本方針・目標を見据えて、ケアの検討がなされ、支援が行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域清掃や地域運営推進会議への参加、秋祭り等での地域の子供やボランティア、高校生との交流、地域住民主体のグリーンベンチなどへの参加が来ている	ホームも参加して行われる恒例の併設施設の祭りには、多くの地域住民が参加している。また、地域の人々が1階の交流広場で毎月カフェを開催しており、そこに利用者も参加する等し、日常的な交流が行われている。	ホームの敷地内には様々な施設群が併設され、サロンやカフェ、行事等を通じて地域住民と利用者の交流の場となっている。今後、地域の認知症介護の拠点施設として法人資源を活用した新たな企画を検討する等し、さらなる地域貢献に向けた取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議を利用し、地域の方々に認知症に対する理解を深めて頂き、ご利用者の生活状況などを伝えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年3回、外部の方々へ事業所の現状・取組内容について報告し、意見を頂きサービスの向上に活かしている	会議は、4事業所の家族と行政、民生委員、班長等の地域の役員が出席している。家族の出席も多く、率直に意見交換が行われている。席上での意見を受けて、支援内容について詳細に説明したり、外出支援の充実化を図る等、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは運営推進会議を通じて、地域との関わりや入居者様の状況、リスクマネジメント、ヒヤリ・ハット報告等細かく報告し意見を頂いている	運営推進会議には市介護保険担当課や地域包括支援センターが毎回出席していて、ホームの活動について理解してもらっている。介護保険制度の改正動向等の情報提供を受けたり、ホーム運営の助言を得る等、協力関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在拘束の対象者はいないが、すべての職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアの実施に取り組んでいる。帰宅願望の強い方がおり離設のリスクが高い為、玄関の施錠をしている	法人や外部で行われる身体拘束をしないケアに関する法人内研修を実施すると共に、各種の外部研修会への参加を通して学びを深めており、身体拘束がもたらす弊害について全職員が認識している。また、日頃からカンファレンスで事例検討を行う等、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	尊厳について理解を深め、周知できるよう常にカンファレンスで知識を得て防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している入居者様は現在みえないが、法人の勉強会やカンファレンス等で知識を得ている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書をもとに説明させて頂き、安心して生活して頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関に設置している。又家族会や運営推進会議へのご家族の参加によりご意見・ご要望を出して頂く機会を設けて運営に反映させている	日常的なケアの中で、利用者との話す機会を捉えて、意向の把握に努めている。家族の来訪時にはできるだけ話しかけ、希望や意向を聞き取るようにしている。家族会、運営推進会議等での意見もケアに活かし、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に2回法人の運営会議が開催され代表者をはじめ各事業所の職員が出席し、意見・相談・提案を話し合い、運営に反映させている	管理者は現場に身を置き、業務を職員と共にして、職員と同じ目線で声かけを行う等、職員が気軽に話ができる関係作りに努めている。また、個別面談や会議の機会を捉えて意見聴取に努めている。職員の意見により、全職員がホーム全員を把握する勤務形態にしたとのことである。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の日頃の努力や具体的な実績・勤務状況などを把握し、個別に話しながら職員各自が向上心を持ち働けるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内キャリアアップ制度に基づき、研修会や法人内の勉強会に参加しスキルアップを図っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホームとの交流や、グループホーム協議会への加盟、研修会への参加により質の向上を図っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを収集し、それをもとに要望等に耳を傾け環境に馴染み、安心できる空間とお互いの信頼関係を築くことが出来るよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の情報をもとに、要望等に耳を傾け何でも話して頂けるよう関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員の認知症に関する理解や知識を深め、支援内容の見極めをしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活における家事作業などを一緒に行い、その方の役割ややりがいに繋げていけるよう、共に過ごす時間を多く持つようになっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて報告・相談をしたり、家族会などで職員や家族同士で悩みなどを話せる場所を設けている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会や遠方の親戚の電話など積極的に受け入れている。	隣接する事業所の利用者と親しく会話したり、同じ趣味の仲間の来訪がある等、馴染みの人々との交流が行われている。利用者と家族を共に支えたいと考えているホームであり、家族との外出の支援や家族と一緒に参加する行事を行ったり、電話や葉書のサポートを行う等、関係継続に向けた支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	アセスメントや関わりの中から得られた生活歴などの情報を共有し、その方に合わせた話しかけ・対応に配慮しつつ、入居者様同士の関係作りや支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援ができる関係作りを心掛けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに基づき生活歴を把握した上で、ご家族・入居者様と日々のコミュニケーションを深め、希望・意向を聞き出せるよう努力している。聞き出した情報はカンファレンスで意見を出し合い、サービスの向上に努めている	日々のケアの中でゆとりをもって利用者と接する機会を持ち、受容的な態度で利用者の意向の把握に努めている。また、コミュニケーションが困難な場合も非言語的コミュニケーションを活用しつつ、表情やしぐさ等の行動の背景の根拠を探りながら、意向把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントシートや、ご家族からの聞き取りによりこれまでの暮らしを把握し、自分らしく暮らしていけるよう支援に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のできる力、わかる力を暮らしの中で発見し、日々の業務の中で話し合いやトリガーシートなどで共有をしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスで全員のモニタリングを行い、ご家族の希望、ご本人の出来ることを重視したプランの見直しを行っている。又多職種連携しアドバイスを受けケアに反映している	利用者、家族の意向を踏まえ、医師、看護師、理学療法士、栄養士等の専門職からの意見も受けてケアプランを作成している。利用者の活動チェック表、機能評価表等の記録もあり、毎月のモニタリングは本人の役割や活動にも言及したものとなっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付きなど、電子カルテへ毎日記入し、カンファレンスにて情報を共有し介護計画の見直しを行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時、外出支援を行っている。又法人内の施設・喫茶などが隣接している為、モーニングやティータイム(ケーキセット)などを楽しむことができる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣施設・託児所との交流などを通じて楽しむことが出来ている。又自治会の方々に見学をして頂き様子の把握をして頂くと共に、消防訓練の実施により安全に暮らせるようきょうりよく関係を築いている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の医師の往診・訪問看護があり相談・報告をしている。又24時間連携体制があり本人・ご家族をはじめ職員の安心となっている。専門医への受診はかかりつけ医からの情報提供をすることにより、連携に努めている	クリニックを母体とした法人グループであるので、医療との連携はとても密に行われており、利用者や家族との安心感につながっている。専門医の受診に際しても、連携関係ができていますので、安心感がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接施設の看護師、訪問看護師に報告・相談し迅速な対応ができています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する際は本人のストレスや負担を軽減する為ご家族と相談し、医師・看護師と連携を図り早期退院に向け取り組む体制が出来ている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期における対応について希望を十分に聞き取り、最善のケアが出来るようにしている。対応すべき時期がきた場合にはご家族・医師・看護師・職員と話し合いの場を設け、支援体制を整える仕組みがある	利用者が重度化した場合や終末期ケアのあり方について、本人、家族と十分な話し合いの機会を持ち、利用者や家族の希望に応じた支援体制を整えている。夜間等、職員が手薄な時に利用者の体調が変化した場合には、いつでも責任者に相談できる体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスでリスクマネジメントの事例をもとに知識や技術の習得をしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災等の災害時、また昼夜を想定した避難訓練を実施している。避難場所として最短距離・最短時間で避難できる駐車場を設定している	年2回、昼夜を想定した避難訓練を行っている。訓練の際には、避難場所や経路を把握し、避難の動線の意識化を図っている。また、消防署員に立ち会ってもらって様々な助言を得ている。飲食物品等を備蓄し、災害に備えている。隣接施設には多くの職員がおり、いざという時には素早く駆けつけることができる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの意思やペースを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛けている。難聴の方にはジェスチャーを交えながらコミュニケーションを図っている	利用者一人ひとりの人格を尊重する観点から、尊厳を損ねないケアの実践に取り組んでいる。日常的なケアの場面では、穏やかな声かけに心がけている。言葉の出ていく方にもゆっくりと話を聴き、利用者の思いを正しく理解しよう心がけている。また、トイレ誘導に際し、さげなく誘導する等、プライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示困難な方でも自己決定出来るよう、選択肢を提示したり、表情を観察するなどし希望に沿えるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意思やペースを尊重し、出来る限り支援できるよう対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選べる方には洋服を選んで頂いている。又髪のカットや染は法人内の美容院を利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は法人施設内で調理したものを、ご飯・汁物はホームで準備し提供している。月1回自由メニューの日を設け、食べたい物を聞き入居者様と一緒に調理、片付け(食器洗いやお盆拭き、テーブルふき)をしている	見た目にも鮮やかな食事が提供されている。利用者が状況に応じてポテトサラダやご飯、デザート、フルーツの盛り分けの手伝いをしている。食卓を囲んで「ご飯は食べさせてもらうのだけど、フルーツは自分で食べれるんやよ。」等との会話が聞こえたりする等、楽し気な食事風景が窺えた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関しては管理栄養士にサポートしてもらい偏りのないようにしている。又体重変化に対しても相談しながら米飯の増減をしている。食事は全員、水分量は必要に応じてチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前の口腔体操や毎日の口腔ケアと観察を実施。法人内の歯科医師に相談し連携できる事で口腔内を良い状態に保ち肺炎予防に繋がっている。月に2回歯科衛生士が口腔内のチェックをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導をさせて頂きトイレでの排泄が維持できるよう支援している。必要に応じ随時話し合い対応している	利用者ごとの排泄リズムを把握し、トイレ誘導を行う等、排泄の自立に向けた取り組みを行っている。パットやリハビリパンツを着用している人もいるが、全員にトイレでの排せつを支援している。失敗された時は直ちにお湯で清拭する等、不快感がないよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操など体を動かす機会を多くしている。ヨーグルトや繊維質の多い物を提供したり、トイレ時に腹部マッサージを行い排便を促している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	菖蒲湯やゆず湯で季節を感じて頂いたり、入浴剤を使うなどの工夫をして入浴を楽しめるよう心掛けている。その日の体調により清拭や更衣などでリフレッシュが出来るよう支援している	ゆず湯・菖蒲湯や保湿効果のある入浴剤を活用する等して利用者の入浴意欲を高めている。入浴を強制してはいないが、入浴を嫌がる人はいない。2階では機械浴を利用して、足が上がりにくい等、体力の低下した人にも楽に入浴していただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の過ごし方を工夫し夜間良眠出来るようにしている。眠れない時は傾聴したり、飲み物を提供したり、一緒に過ごし穏やかに眠りにつく事が出来るよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用・用法・用量について理解し、必ず飲み込むまで確認している。状態に変化があれば医師の指示を仰ぎ迅速な対応が出来るよう支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や習慣を大切に、その方らしい暮らしができるよう支援している。又食器洗いや洗濯干し・たたみなどの家事作業等、役割を見つけ活躍できる場を設けている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣施設への訪問や散歩、喫茶等外出支援している。お墓参りや専門医の受診など特定の場所に関してはご家族の協力を得て外出して頂いている	近隣にデイサービスや小規模多機能施設、喫茶、食堂があり、手軽に外出できる。天気の良い日はテラスを散歩したり、また職員と共に買い物や外食に出かける等、外出支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や喫茶代などは引き落としとなっている。本人が希望されるものはご家族に依頼し購入して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をかけるなど取次をしている。親戚からの暑中見舞の返事を書きたいといった要望にも対応している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの貼り絵やぬり絵を掲示することで、季節を感じて頂いている。又採光に配慮し明るく安心できる環境作りを心掛けている。毎日の室温チェックや掃除により快適に過ごせるよう努めている	居間をはじめ廊下、洗面所、浴室等が使いやすいように配置され、清潔感にあふれている。環境整備の日を設け、快適さを追求している。外の景色だけでなく、隣接の交流スペースの様子も垣間見え、利用者の楽しみになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで入居者様同士一緒に過ごしたり、居室で気の合う者同士話をしたり、のんびりと一人の時間を過ごす方もみえる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの生活用品、ご家族の写真などを持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている	棚の上にはいっぱいの家族の写真、壁に掲示された多くの自分の作品、ベッドの脇に、おそらく家で使ってみえたと思われる椅子が配置されている。以前からの生活スタイルを大切に自分の部屋づくりができており、居心地良く過ごせる居室であると感じ取れた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の分からない方には、大きく名前を書いた紙を扉に貼るなど工夫している		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170500769		
法人名	社会福祉法人 フェニックス		
事業所名	グループホーム サニーテラス 2階		
所在地	岐阜県各務原市鵜沼各務原町9-204-3		
自己評価作成日	令和 1年12月28日	評価結果市町村受理日	令和 2年 4月 3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/21/index.php?action=kouhyou_detai_2014_022_kani=true&ji_gyosyoCd=2170500769-00&PrEfCd=21&Versi onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 岐阜後見センター
所在地	岐阜県岐阜市平和通2丁目8番地7
訪問調査日	令和2年1月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「Yes,we can! なんでも言ってください。私たちも一緒に頑張ります」がフェニックスグループの理念である。スタッフは名札に入れて共有し常にその思いを持ち入居者様のケアにあたっている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域清掃や地域運営推進会議への参加、秋祭り等での地域の子供やボランティア、高校生との交流、地域住民主体のグリーンベンチなどへの参加が出来ている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議を利用し、地域の方々に認知症に対する理解を深めて頂き、ご利用者の生活状況などを伝えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年3回、外部の方々へ事業所の現状・取組内容について報告し、意見を頂きサービスの向上に活かしている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは運営推進会議を通じて、地域との関わりや入居者様の状況、リスクマネジメント、ヒヤリ・ハット報告等細かく報告し意見を頂いている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在拘束の対象者はいないが、すべての職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアの実施に取り組んでいる。帰宅願望の強い方がおり離接のリスクが高い為、玄関の施錠をしている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	尊厳について理解を深め、周知できるよう常にカンファレンスで知識を得て防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を活用している入居者様は現在みえないが、法人の勉強会やカンファレンス等で知識を得ている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書をもとに説明させて頂き、安心して生活して頂けるよう努めている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を玄関に設置している。又家族会や運営推進会議へのご家族の参加によりご意見・ご要望を出して頂く機会を設けて運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に2回法人の運営会議が開催され代表者をはじめ各事業所の職員が出席し、意見・相談・提案を話し合い、運営に反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の日頃の努力や具体的な実績・勤務状況などを把握し、個別に話しながら職員各自が向上心を持ち働けるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内キャリアアップ制度に基づき、研修会や法人内の勉強会に参加しスキルアップを図っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホームとの交流や、グループホーム協議会への加盟、研修会への参加により質の向上を図っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを収集し、それをもとに要望等に耳を傾け環境に馴染み、安心できる空間とお互いの信頼関係を築くことが出来るよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の情報をもとに、要望等に耳を傾け何でも話して頂けるよう関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員の認知症に関する理解や知識を深め、支援内容の見極めをしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活における家事作業などを一緒に行い、その方の役割ややりがいに繋げていけるよう、共に過ごす時間を多く持つようにしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて報告・相談をしたり、家族会などで職員や家族同士で悩みなどを話せる場所を設けている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会や遠方の親戚の電話など積極的に受け入れている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	アセスメントや関わりの中から得られた生活歴などの情報を共有し、その方に合わせた話しかけ・対応に配慮しつつ、入居者様同士の関係作りや支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援ができる関係作りを心掛けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに基づき生活歴を把握した上で、ご家族・入居者様と日々のコミュニケーションを深め、希望・意向を聞き出せるよう努力している。聞き出した情報はカンファレンスで意見を出し合い、サービスの向上に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントシートや、ご家族からの聞き取りによりこれまでの暮らしを把握し、自分らしく暮らしていけるよう支援に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のできる力、わかる力を暮らしの中で発見し、日々の業務の中での話し合いやトリガーシートなどで共有をしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスで全員のモニタリングを行い、ご家族の希望、ご本人の出来ることを重視したプランの見直しを行っている。又多職種連携しアドバイスを受けケアに反映している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきなど、電子カルテへ毎日記入し、カンファレンスにて情報を共有し介護計画の見直しを行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時、外出支援を行っている。又法人内の施設・喫茶などが隣接している為、モーニングやティータイム(ケーキセット)などを楽しむことができる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣施設・託児所との交流などを通じて楽しむことが出来ている。又自治会の方々に見学をして頂き様子の把握をして頂くと共に、消防訓練の実施により安全に暮らせるようきょうりよく関係を築いている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の医師の往診・訪問看護があり相談・報告をしている。又24時間連携体制があり本人・ご家族をはじめ職員の安心となっている。専門医への受診はかかりつけ医からの情報提供をすることにより、連携に努めている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接施設の看護師、訪問看護師に報告・相談し迅速な対応ができています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する際は本人のストレスや負担を軽減する為ご家族と相談し、医師・看護師と連携を図り早期退院に向け取り組む体制が出来ている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期における対応について希望を十分に聞き取り、最善のケアが出来るようにしている。対応すべき時期がきた場合にはご家族・医師・看護師・職員と話し合いの場を設け、支援体制を整える仕組みがある		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスでリスクマネジメントの事例をもとに知識や技術の習得をしている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災等の災害時、また昼夜を想定した避難訓練を実施している。避難場所として最短距離・最短時間で避難できる駐車場を設定している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの意思やペースを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛けている。難聴の方にはジェスチャーを交えながらコミュニケーションを図っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示困難な方でも自己決定出来るよう、選択肢を提示したり、表情を観察するなどし希望に沿えるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意思やペースを尊重し、出来る限り支援できるよう対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選べる方には洋服を選んで頂いている。又髪のカットや染は法人内の美容院を利用している。早朝に起きお化粧を念入りにする方もいる		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は法人施設内で調理したものを、ご飯・汁物はホームで準備し提供している。月1回自由メニューの日を設け、食べたい物を聞き入居者様と一緒に調理している。又見守りのもと食器洗いやお盆拭き、テーブルふきをして頂いている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関しては管理栄養士にサポートしてもらい偏りのないようにしている。又体重変化に対しても管理栄養士に相談しながら米飯の増減をしている。食事量は全員、水分量は必要に応じてチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前の口腔体操や毎日の口腔ケアと観察を実施。法人内の歯科医師に相談し連携できる事で口腔内を良い状態に保ち肺炎予防に繋がっている。月に2回歯科衛生士が口腔内のチェックをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導をさせて頂きトイレでの排泄が維持できるよう支援している。必要に応じ随時話し合い対応している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操など体を動かす機会を多くしている。ヨーグルトや繊維質の多い物を提供したり、トイレ時に腹部マッサージを行い排便を促している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	菖蒲湯やゆず湯で季節を感じて頂いたり、入浴剤を使うなどの工夫をして入浴を楽しめるよう心掛けている。その日の体調により清拭や更衣などでリフレッシュが出来るよう支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の過ごし方を工夫し夜間良眠出来るようにしている。眠れない時は傾聴したり、飲み物を提供したり、一緒に過ごし穏やかに眠りにつく事が出来るよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用・用法・用量について理解し、必ず飲み込むまで確認している。状態に変化があれば医師の指示を仰ぎ迅速な対応が出来るよう支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や習慣を大切に、その方らしい暮らしが出来るよう支援している。又食器洗いや洗濯干し・たたみなどの家事作業や花・野菜の水やりなど、役割をみつけ活躍できる場を設けている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣施設への訪問や散歩、喫茶等外出支援している。お墓参りや専門医の受診など特定の場所に関してはご家族の協力を得て外出して頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や喫茶代などは引き落としとなっている。本人が希望されるものはご家族に依頼し購入して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をかけるなど取次をしている。孫からの手紙などの受け渡しも行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの貼り絵やぬり絵を掲示することで、季節を感じて頂いている。又採光に配慮し明るく安心できる環境作りを心掛けている。毎日の室温チェックや掃除により快適に過ごせるよう努めている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで入居者様同士一緒に過ごしたり、居室で気の合う者同士話をしたり、のんびりと一人の時間を過ごす方もみえる。廊下を散歩しながら窓から交流広場を眺める方もいる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの生活用品、ご家族の写真などを持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒のリスクが高い方には、居室内の家具の配置を変えたり、居室の分からない方には入り口に名札をつけるなど工夫している		